

ICT技術を活用したイチゴ高設栽培の 高位安定生産技術の開発

- 実施期間：令和2～5年度
- 担当部署：野菜部
- 区分：農畜水産業イノベーションプロ・県単

○研究内容

当センターが育成した県オリジナル品種「華かがり」は、大玉で果形が良く、化粧箱販売での評価が高いが、給排液の量や濃度の急激な変化などにより食味が低下する傾向が強く、さらなるブランド化の課題となっています。一方、イチゴ栽培の生産性向上を図れる養液栽培システムとして当センターが平成11年に開発したイチゴ高設栽培「岐阜県方式」では、給排液調査の煩雑さなどから環境の変化に合わせた給液の適正な管理ができず、収量が伸びていない事例が多く見られます。

そこで、イチゴ高設栽培「岐阜県方式」において、給排液調査を自動で実施し、排液率および日射量もとに給液回数を、排液ECをもとに給液ECを自動で設定変更する給液制御システムを開発し、給排液調査や設定作業の自動化による省力を図るとともに、収量および品質の向上を実現します。

